



小 平 町 議 会
議 長 藤 田 貢

新年あけましておめでとうござい
ます。

輝かしい平成29年の新春をこうし
て町民の皆さんと共に迎えることが
できましたことを心よりお喜び申し
上げます。

皆さんには日頃より当議会に対し
暖かいご理解とご協力をお寄せいた
だき、厚くお礼申し上げます。

さて、顧みますと昨年の町を代表
する農作物の水稲は、春先からの農
作業も順調に進み、開花次期も高温
に恵まれ、留萌管内にあつては作況
指数108という全道平均を上回る豊作
となりました。

漁業においては、海獣による刺網
の漁具被害が年々増加している中、
タコ・カレイ類については、順調な
操業により漁獲高は大幅な増加とな
り、秋サケ漁は市場価格が高値傾向
から入り大きな期待をしていたとこ
ろでありましたが、時化続きにより
漁獲量が減少となったものの、昨年
同額の漁獲高を確保することができ
ました。ホタテ養殖漁業は、稚貝の
販売増に加え、成員の韓国輸出単価
の高騰により、これまでにない販売

額となり好調に推移いたしました。

国内では、「一億総活躍社会の実
現」に向けて、我が国の構造的な問
題である少子高齢化に真正面から挑
むため、「希望を生み出す強い経済」
「夢をつむぐ子育て支援」「安心につ
ながる社会保障」の「新・三本の矢」
の実現を目的とする「新・三本の矢」
総活躍プラン」が進められておりま
すが、今後の具体的な内容について
十分注視していかなければならない
情勢となっております。

また、地方の人口減少及び東京一
極集中の解消を図るため、「まち・ひ
と・しごと」の地方創生が叫ばれ、
当町においても人口減少の難局と正
面から向き合い、これまで以上に行
政・産業・住民が一体となった「ま
ちづくり」の推進が要求される時代
となっております。

私も議会といたしましても、地
域のことは地域が責任を持って決め
る「地域主権」の理念を基本に、広
く町民の皆さんの真の要望と地域の
実情を的確に把握し町政に反映させ
将来に向かって明るく安心して暮ら
していける小平町を創造するため、
最善を尽くす決意を新たにしてお
りますので、今後とも貴重なご意見・
ご提言を賜りますようお願い申し上
げます。

結びに、新しい年が町民の皆様方
にとつて、実り多き年となりますこ
とを心より祈念いたしまして、年頭
のご挨拶とさせていただきます。

新年ごあいさつ



小 平 市 東 京 都 姉 妹 市
市 長 小 林 正 則

新年明けましておめでとうござ
います。

小平町民の皆様におかれまして
は、ご健勝にて新年をお迎えのこ
とと、お喜び申し上げます。

昨年は、貴町が町制施行50周年
という記念すべき節目の年を迎え
られましたこと、心よりお祝い申
上げます。

記念式典、小平町産業祭りでの
親善訪問の際には、町民の皆様方
の心温まる歓迎をいただきまして
感謝申し上げます。

小平町の皆様とは、昭和53年7
月に同名の自治体のよしみで、姉
妹都市の締結をして以来、双方の
小学生が夏休みを利用しての相互
訪問している少年少女交歓交流事
業をはじめ、小平市民まつりでの
小平町の特産物の販売や、未来へ
の遺産として実施しているふれあ
いの森林づくり事業、米穀商組合
を通してのななつぼしの販売など、
教育、文化、産業など幅広い分野
で広く交流を図っています。

昨年も小平市民まつりには、忙
しい日程の中、関次雄町長様をは
じめ小平町親善訪問団の皆様に参加
していただき、まつりを盛り上
げていただきました。

小平町の新鮮な農産物や海産物
を毎年楽しみにしている方も多く、
今年も大勢の市民の方が購入に訪
れておりました。

来年には姉妹都市の交流40周年
を迎えます。これからも、より一
層、姉妹都市としての絆を深めて
まいりたいと存じます。

結びに、小平町のますますのご
発展と、町民の皆様方のご健勝・
ご多幸をご祈念申し上げます、
年頭のあいさつとさせていただきます。

